

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調書

都道府県名	広島県	事業実施主体	尾道市	地域再生計画名	尾道市「安らぎのあるまちづくり」計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	尾道市都市部長 榎原雅樹		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績					
	指標1	汚水処理人口普及率	37.4%	H22	42.8%	H24	39.4%	48.3%	H26	42.3%	△	浄化槽(個人設置型)設置事業は概ね計画通り実施出来ているものの、公共下水道整備が工事単価の高い幹線の整備に偏ったため整備量が伸びず、目標値を下回った。
	指標2											
	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (H24)	最終実績							
特別措置を適用して 行う事業	公共下水道		6,400m	3,200m	3,460m	平成22年度に行った全体計画見直しにより、整備優先順位が高く工事単価の高い住宅団地の污水幹線を重点的に整備したため整備量が伸びず、当初計画を下回った。						
	小型浄化槽（個人設置型）		2,675基	1,338基	2,278基	当初計画をやや下回ったものの、概ね計画通り実施できている。						
その他の事業	景観形成事業		景観計画の届出件数 259件 景観地区認定申請件数 99件			景観に関する届出・認定申請件数が358件あり、景観の形成・保全に一定の成果があった。						
	まちなみ形成事業		外観整備に係る補助金交付申請件数 5件 補助金額 10,000千円			歴史的建造物整備に対する支援を年平均1件行い、個性的で風格のあるまちなみ形成に寄与した。						
	港湾海岸保全事業		毎年一定量の高潮対策や係留施設等 の整備			尾道水道に面した市街地の浸水被害の軽減、海に親しめる賑わいのある魅力的な親水空間の形成に寄与した。						
	農業・漁業集落排水事業		各集落排水地区において概ね整備を 完了し、自然環境と快適な住環境を 保全			自然環境と快適な住環境の保全及び海域の水質改善に寄与した。						
	尾道みなと祭		尾道を代表する祭として賑わいを創 出			毎年継続して実施され、尾道を代表する祭として賑わいを創出している。						
計画外で独自に実施 した事業												
④評価方法	市関係部署で最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。											
⑤事後評価の公表方法	尾道市下水道課のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本計画では、尾道水道などの歴史的・文化的資源を生かした魅力ある景観の保全を図るとともに、污水処理施設整備交付金を活用した汚水処理人口普及率の向上による住環境の保全・海域の水質保全に取り組んできた。全体として一定の成果は得られたものの、公共下水道整備を優先度の高い地域から着手した結果、幹線整備に偏り面整備が遅れ、汚水処理人口普及率が目標値に達しなかった。											
⑦今後の方針等	次期計画においては、本計画で優先的に整備した幹線に隣接する面整備及び人口集中区域の面整備（団地・マンションなどの大型浄化槽の接続）を重点的に進めるとともに、本計画と同様に浄化槽（個人設置型）の設置を促進し、汚水処理人口普及率の早期向上を目指したい。											